

かべ あな だい さん わ 壁の穴、第三話



ぼく かべ あな そと で かべ あな ぶつだん うし
僕は、壁の穴からそっと外に出た。壁の穴は、仏壇の後ろ
にある。きっと、人間達は、この穴を隠すために、仏壇をこ
こに置いたんだろう。前に住んでいた家もそうだった。
そこは、壁の穴の前に、本棚が置いてあった。僕達にとっ
て、隠された壁の穴の中は、完璧な家だった。

ぼく ぶつだん かべ あいだ すきま みち とお ろうか
僕は、仏壇と壁の間にある隙間の道を通って、廊下の
方へと向かった。廊下を照らす朝日が眩しかった。
きょう あつ おも
今日もまた、暑くなりそうだなあと思った。

とお あさ かあ
遠くから、「クミコ、朝ごはんよ～」と、クミコの母ちゃんの
こえ き ぼく ぶつだん かげ さが
声が聞こえた。僕は、そっと仏壇の陰からクミコを探し
た。クミコは、廊下に寝っ転がっていた。座布団の上で、
ひなた み ざぶとん
日向ぼっこをしているように見えた。座布団から、クミコ

の^{あし}足がはみ^だ出していた。あったかくて^{きも}気持ちよさそうな
^{ばしょ}場所だった。

Vokabular

Bitno

隠す

glagol (五)

- skrivati

かくす

遠く

imenica, prilog, no-pridjev

- daleko

とおく

本棚

imenica

- polica za knjige

ほんだな

寝っ転がる

glagol (五)

- zaleći

ねっころがる

完璧

na-pridjev

- savršen

かんぺき

日向ぼっこ

imenica, suru-glagol

- izležavanje na suncu

ひなたぼっこ

隙間

imenica

- pukotina

すきま

はみ出す

glagol (五)

- proviriti

はみだす

眩しい

i-pridjev

- sjajan, zračeci

まぶしい

Ostalo

僕

zamjenica

- ja, muški

ぼく

穴

imenica

- rupa

あな

壁

imenica

- zid

かべ

外

imenica

- vani

そと

出る <i>glagol (一)</i> • izaći	でる	中 <i>imenica, no-pridjev</i> • unutra	なか
仏壇 <i>imenica</i> • Budistički oltar (kućni)	ぶつだん	間 <i>imenica</i> • prostor (između)	あいだ
後ろ <i>imenica, no-pridjev</i> • iza, otraga	うしろ	道 <i>imenica</i> • put	みち
人間 <i>imenica</i> • čovjek	にんげん	通る <i>glagol (五)</i> • proći	とおる
達 <i>sufiks</i> • množina	たち	廊下 <i>imenica</i> • hodnik	ろうか
置く <i>glagol (五)</i> • smjestiti	おく	方 <i>imenica</i> • smjer, način	ほう
前 <i>priložna imenica</i> • prije	まえ	向かう <i>glagol (五)</i> • ići prema	むかう
住む <i>glagol (五)</i> • stanovati	すむ	照らす <i>glagol (五)</i> • obasjavati	てらす
家 <i>imenica</i> • kuća	いえ	朝日 <i>imenica</i> • jutarnje sunce	あさひ

今日 <i>imenica</i> • danas	きょう	探す <i>glagol (五)</i> • tražiti	さがす
暑い <i>i-pridjev</i> • topao	あつい	座布団 <i>imenica</i> • jastuk za sjedenje	ざぶとん
思う <i>glagol (五)</i> • misliti	おもう	上 <i>imenica, no-pridjev, prilog</i> • iznad	うえ
朝ごはん <i>imenica</i> • doručak	あさごはん	見える <i>glagol (五)</i> • vidjeti se	みえる
母ちゃん <i>imenica</i> • mama	かあちゃん	足 <i>imenica</i> • noga	あし
声 <i>imenica</i> • glas	こえ	気持ち <i>imenica</i> • osjećaj	きもち
聞こえる <i>glagol (五)</i> • čuti se	きこえる	場所 <i>imenica</i> • mjesto	ばしょ

Domaća zadaća

1. Napišite kratku priču ili par rečenica koristeći riječi iz kutije ispod. Rečenice ili tekst ne moraju nužno biti vezane uz sam tekst.

隠す ・ 本棚 ・ 寝っ転がる ・ 日向ぼっこ

2. Odgovorite na pitanja:

(i) 壁^{かべ}の穴^{あな}はどこにある？

(ii) 語り手^{かた}はなぜ人間^てたちは仏壇^{にんげん}や本棚^{ぶつだん}を壁^{ほんだな}の穴^{かべ}の前^{あな}に置く^{おも}のだと思って
いる？

(iii) 廊下^{ろうか}に出る^{ひつよう}ために何^{ひつよう}をする必要がある？

(iv) クミコのお母さんは何のためにクミコを呼んでいる？

(v) クミコは何の上にあった？

3. Nadopunite sljedeće rečenice riječima iz kutije ispod:

眩しい ・ 隙間 ・ 隠している ・ 寝っ転がっている ・ 本棚
完璧 ・ 遠く ・ はみ出ている ・ 日向ぼっこ

(i) サダコは顔を髪で_____からよく見えない。

(ii) 私の_____はでかくて古い、だからそこで色々な本が見つけれられるよ。

(iii) _____なワンピースを昨日店で見たけど今月金はまだちょっと
きついので買わなかった。

(iv) 雨が屋根の_____からぽたぽた落ちていた。

(v) クエーサーとは、非常に遠方にある、_____輝きを放つ天体だ。

(vi) 彼らは老人に出会ったときにまだ_____へ行かなかった。

(vii) 猫達はこたつの下で_____。

(viii) 桜子さんは_____が大好きなんだ、特に自分の庭でミカンの木の隣で。

(ix) 「母さん、母さん、枝は土から_____、変だよ。」と幼い武君が大声で
自分のお母さんに言った。